

令和5年11月10日

アイヴィス創業35周年記念の会 第二部 挨拶

株式会社 アイヴィス

代表取締役社長 石和田 雄二

○ はじめに

{ 35周年の記念日と「記念の会」について報告 }

— 35周年記念の式が終わり、これからは社員のお祝いの会です。
本日の午後2時から、日頃お世話になっているお客様をお招きして、「創立35周年記念の会」、第一部を開催しました。
私しか知らない創業時の想いや会社の雰囲気、当社の業態が出来る経緯などを説明した為に、冒頭の挨拶が長くなりました。
ご挨拶をお願いした主賓の方にはご迷惑を掛けてしまった様です。しかし、それを除けば、予定通りの展開、素晴らしい演奏に加え、アテンドの皆さんの心遣いによる和やかな懇談の場もあり、まずまずの楽しい記念の会になったと思います。
事前の準備や運営面で、会を支えてくれた経営管理、営業推進の方、又、大阪名古屋も含め、アテンド役の管理者の方、大変ご苦労様でした。

夜の部は、昼の関係者の慰労と社員懇親会も兼ねたお祝いの会です。当社がここまで来るのに頑張ってくれた人たちが沢山います。技術系と管理部門系に対象を分けて表彰を行います。技術系はこの10年に限定して選び、管理系は35年間を対象です。本日の参加者は東京地区の社員が中心ですが、当社の5年単位の記念行事、皆で楽しく祝いたいと思います。

○ 創業以来、今日に至る35年を振り返って

{ 平成は激動の時代、何故、中小企業の当社が潰れなかったか }

— 平成はITサービス成長期、成長の流れに乗ることが出来た。
創業時のことを今になって考えると、時々恐ろしくなることがある。
家族4人抱え、貯金全額と借金の1千万円すべてを会社に投じ、IVISの様な技術の理想を追う会社を立上げたことだ。
旨く行ったから良かったものの45歳で良く踏み込んだと思う。
その後一年で何とか自立できる状態まで持込めた。
初期メンバーの努力のお陰だが、運にも恵まれたのだと思う。

3次元の汎用 CAD の需要が本格的に立ち上がる時期であり、開発環境として UNIX-WS とそのネットワークが、ビジネス系にも広がる成長期と重なった時だったことが幸いした。後に CAD 開発が成熟期に近づいて集約され、仕事がなくなった時に開発環境を梃に他のシステム開発分野に参入することが出来た。中小企業は一度の失敗が命取りになる。時代に救われたのだ。

話が長くなるので、35年間の経過は飛ばし、今の当社の位置付けとその成長可能性について触れます。

○ 現状の当社と当社を取り巻く環境を考える

{ AI の時代が始まる。当社の現状とその将来性はあるのか? }

- ITサービスの新たな成長期、35周年のその先の成長を目指す。第3次 AI ブームと言われているが、今回の AI はブームで終わるのではなく、新しい AI の時代の始まりになる可能性が高い。

来期から新基盤整備 3 ヶ年計画を実施する。

新人を加え来期技術者は 800 名超、売上も 70 億円の大台に乗る。

3 年計画が終わる 27 年 3 月期には、

技術者 1000 名超、売上 100 億、利益 6 億円の達成を目指したい。

大阪名古屋東京の 3 拠点軸に本格的な技術研究開発センターを加え

その先の成長を目指して行く。

○ 当社は 35 周年の今初めて、大きな成長への可能性を感じている

{ 先進技術と顧客対応部隊が協力、新たな変革の時代を拓く }

- データの時代の始まり、今再び成長の流れに乗ることが出来た。

今は生成 AI の時代の始まり、これからは汎用 AI とその学習方式の画期的進展に加え、顧客が必要とする専門分野への応用とその課題解決の為にかなり長期に亘って成長が続くのではないかと思う。

長期の技術革新期への対応は、35 年前に経験した鉄則と同様に、成長の波に乗ること、

半歩先の先進性をもって将来の道を拓いて行くことだ。

その為もあり、当社は 2013 年から深層学習の AI を主体に研究開発を行う新組織、応用技術開発本部を設立、多くの顧客課題の解決を手掛け、それ以上に技術導入と人材育成に注力して来た。

今は開発基盤のクラウドも加え、先進技術研究開発本部と名を変え、東京の月島100名、名古屋大阪を加え超150名の先進技術者がいる。国の大型委託研究2件を担当、お客様の研究開発支援や顧客課題の試作実験評価と共に、大手顧客の下で、時代を拓く新技術の実用化に向けて挑戦している。漸く、新たな成長の波に乗り、同業の半歩先を歩み始めた感はある。

会社を牽引する先進技術開発が、業界の半歩先を行くのは良いが、その先進技術がCatch Upを超えてビジネスとして独立できるのか、顧客価値創造を使命とするITソリューションサービス部隊と共に、会社全体として新たなビジネスの成長の波に乗って行けるのか、これからが勝負、幾つかの問題と想定されるリスクがあり、背伸びをして走り出す前に、今から対応策を十分考えて進めて行く。

- 今年度後半は来年以降の成長に向けた準備、足元を固める
{ 資本提携3社、業界の専門企業の力添えを得て、リスク解消へ }
 - 構想大きく努力の積重ねが重要だが、土台不安定では倒壊する。その前提となるのが当面のリスクの解消、主要課題は次の3つ。
 - ① 先進技術の方向性
期待過剰のバブル的な先進技術、求心力へ将来目標の確立が必須。
 - ② 手薄な管理指導者層
質量共に旧管理指導層と拡大する若手技術層との矛盾、その解消
 - ③ 交代可能な経営管理層
新基盤整備に向け将来構想を共有した事業承継体制への準備。簡単には解決できないが、成長を目指すには不可避な課題である。外部の力を借り、改善努力を積重ねて課題解決に向かって行く。現時点で考えている解決の方向性としては、
 - ① は、資本参加3社と当社のSLAMが生きる共通なAI目標がベスト、時代のテーマ、NTTも近々参入する「自動運転技術」は選択肢だ。
 - ② は、単純に管理者登用に走ることも外部人材の導入も問題の拡大、若手に責任を持たせて力をつける同業他社との水平分業で解消。
 - ③ 社内人材主体に組織体制の役割を明確化、権限委譲を進める。
内政は現組織の自立成長、外政を分担、新3か年計画で交代へ。何れのテーマも、当社単独では不可能な課題、資本提携先の3社は勿論、同業他社のお力添えを頂きながら、実現してゆく。

○ おわりに

{ 社員懇親会、将来の夢を語りつつ楽しい一時をお過ごし下さい }
— コロナ前の19年12月以来の大規模懇親会、皆で楽しいひと時を
ITを取巻く環境も良く創業35周年を機に新たな成長へ舵を切る。
今日は、5年に一度のお祝いでもあり、
将来に繋がる仕事に貢献したチームと35年間の功労者を表彰する
「当社の成長を支えた組織及びプロジェクト（令和5年版）」
「創業35年間の経営を支えた功労スタッフグループ」
その組織、プロジェクト、グループの個人を選んであるので、
後ほど発表し、表彰します。

社会人としての私は、日本のコンピュータ時代の黎明期にその先頭に立っていた日本UNIVAC（現、BIPROGY）に入社、当時社員800名位で同期の入社社員は100名ほどでした。

私も含めてですから、そんな優秀な人材が揃っていた訳ではない。時代のフォローの風を受け、10年後には3千人位の会社に成長した。今の時代も、ITサービスの一大変革期であるのと少子高齢化の日本を支えるのは、潜在能力の高いAGI含むITサービス以外にはない。自分は何れいなくなるが、当社がこれからも堅実に力をつけ、構想力大きく時代の波に乗り、成長を続けることを期待している。

本日は、本社の殆どの社員が集まった久しぶりの社員懇親会です。アイヴィス創業15周年から来て貰っている双子の小関郁、妙さんによるヴァイオリンのデュオ・コンサートを用意しました。その後は、立食パーティです。

35年間の歴史の一端を映したスライドショーもあるそうです。ささやかな宴ですが、未来の夢を交え、ご歓談をお楽しみ下さい。

（おわり）

令和5年 11月 10日

アイヴィス創立 35 周年記念の会

当社の成長を支えた組織及びプロジェクト(令和 5 年版) 10 選

経営企画部 石和田 雄二

- 第1位 : 旧応用技術開発本部の組織作りの指導層
「国研等_AI 技術開発の技術導入・人材育成を通して企業基盤を築く」
＜代表 谷口 達樹＞
- 第2位 : 杉村倉庫向けの出入庫管理 WMS 開発_PRJ
「KSR_委託案件:大規模スクラッチ開発を達成、大阪支店開発部の基礎築く」
＜代表 潘 駿＞
- 第3位 : 新企業基盤 GAIA_認証認可機能開発_PRJ
「NTT データ_委託案件:巨大組織での要件定義から運用までを困難を越えて実用化」
＜代表 高田 陽平＞
- 第4位 : 車載電池の劣化計測システム開発_PRJ
「TS_委託製品開発:HV・EV 車の蓄電池劣化度計測の画期的な手法の開発」
＜代表 井上 和彦＞
- 第5位 : 資格審査機能の開発等、空本基盤業務支援
「IHL_SC_委託案件:技術資格管理システムの開発など現地と共に基盤業務を支援」
＜代表 川又 正武＞
- 第6位 : T 社 S/F 新コールセンター構築と運用支援
「BIPRO_受託案件:S/F 基盤上で AI 機能も加えた次世代新システムを開発」
＜代表 古性 和義＞
- 第7位 : オープンサイエンス共通研究基盤開発_PRJ
「NII_委託案件:大学・研究機関を跨る研究基盤のガバナンス機能を開発」
＜代表 鹿間 章宏＞
- 第8位 : 就職情報キャリアタスのコンテンツ開発_PRJ
「DISCO_委託案件:長年に亘る学生向け企業向け最新コンテンツ企画開発」
＜代表 小山 紀之＞
- 第9位 : 農中金_全国 JA 店舗金融システム刷新_PRJ
「BIPRO_委託案件:当社開発 Smile Branch 軸に新金融システムを全国営業店に展開」
＜代表 渡部 憲太郎＞
- 第10位 : 分子シミュレーション技法の確立と実用化
「TS_委託技術開発:固体電池材料開発に分子シミュレーション技法を導入適応」
＜代表 小島 一輝＞

令和5年 11 月 10 日

アイヴィス創立 35 周年記念の会

創業 35 年間の経営を支えた功労スタッフ・グループ 3 選

経営企画部 石和田 雄二

創業以来 35 年間、一貫して、もしくはそれに準じて、特に顕著な功労のあった人を選出、それをスタッフ・グループとして再定義している。現在も同様だが、それぞれの時点での多くの人の努力があつて今日があるのだが、今回は勤続 20 年以上の在籍者を前提に特別功労者を選出した。

☆経営管理スタッフ:

「経営管理業務と共に、後任の指導・育成に果たした顕著な功績」

<代表 常勤監査役 岩崎 伸一>

表彰者 : 岩崎 伸一、太田 ゆう子 (2名)

☆人事教育採用スタッフ:

「人事教育の制度化・運用と共に、採用活動に於いての顕著な功績」

<代表 人事教育部顧問 成瀬 博>

表彰者 : 成瀬 博、赤石 友也、森 達博 (3名)

☆営業・営業事務スタッフ:

「営業及び営業管理業務において、長期に亘って貢献、顕著な功績」

<代表 経営企画部 野口 和義>

表彰者 : 野口 和義、椎名 千恵、伊藤 健一 (3名)

以 上